

## 本部狀況

昨年三月卒業式を終へて各學友が校を背にして活社會の人となられし以來母校は頓に寂寥を感じ申候學校の助手として校に留まりし諸君は養蠶科原田、野澤、佐谷戸、北原、水野、宮川、菅原、菅澤の八名製絲科清宮、松井の二名合計拾名の諸君に候梅櫻桃李の期は夢と飛んで櫻葉薫る新緑の頃新卒業生が夢は常に母校に通ひし事と存候。三伏の暑熱は汗に流れて紅葉色はゆる初秋となり申候。養蠶部助手野澤君は山形の學校に原田、北原、水野、菅原、菅澤の五氏は雄々しき武夫として軍營の人となられ候校に止るもの三名となり秋の暮とはなり申候。十二月に入り松村氏來校養蠶部助手となる間もなくして宮川君死去せらる年新たにして同胞一人を失ふの悲哀を痛切に味申候。長野市ある西方寺雪踏み別けて君が英靈を祭りしは一月八日に候。一月も夢と過ぎ二月も矢と走り吾等が卒業の式に若き胸をおどらせしは一年の昔語とはあり申候。山紫に笑初むる彌生末吾等は希望に滿てる六十餘名の新卒業生を得て共に母校將來の發展に向ひて誓の酒をくみ申候

母校教職員諸賢中金子講師は家事都合の爲め辭職せられ(拾月) 齋藤助手は山形縣農事試驗場に轉任(十月) 奥井講師病を以て退かれ(九月) 齋藤(舊宮原)氏、澁澤氏共に本年三月辭職せられ候。新任としては

勝木教授昨年七月歸朝せられ村井農學士(測量病理生理講師)(本年一月)小田中染十郎氏(製絲科助教授)  
早野清三郎氏(体操教官助教授)(本年一月)の諸氏に候

臨時講師として昨年五月上野農學士來校細菌學の講義をせられ十二月及本年一月の二月に亘り三十日間  
石渡博士來校蠶体病理及生理の講義を致され候

其他教職員中移動無之校長閣下始め諸教官職員各位何れも健在に渡らせられ銳意專心斯學の研究と學生  
の教授薰陶に御盡瘁被下つゝ有之誠に國家の爲慶賀の至に候

會員諸彦中時々本部を訪はれ新しき話を承はるを得るは深く謝する所に候此後共時々母校本部を訪はれ  
親しく經驗せられたる事共御聞かせ被下度切望致候

